

# 当法人のラジオ番組開始について

WBS 和歌山放送ラジオにて当法人の冠番組が開始されることになりました。

番組名：貴志リハ健康ラジオ

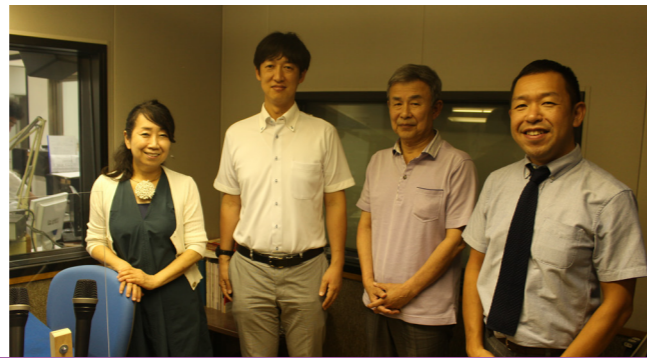
放送日時：毎月第2、第4土曜日のAM7時45分～AM8時

周波数：AM1431kHz / FM94.2MHz

赤井アナウンサーを聴き手に、亀井院長を中心とした当法人の職員が出演し、医療介護サービスや健康に過ごすための予防法等を紹介していく番組です。  
過去放送分は当院ホームページに公開しておりますのでぜひお聞きください。



収録の様子



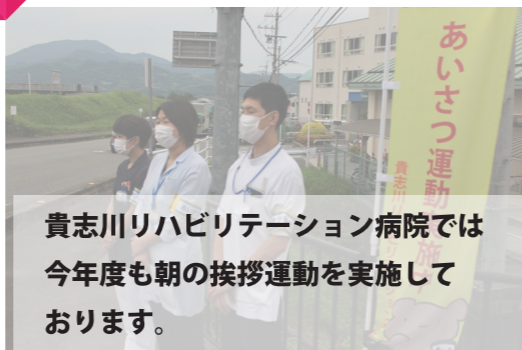
左から赤井アナウンサー、美濃 PT、亀井院長、宮井 OT

## アクセス



## お知らせ

### 朝のあいさつ運動



貴志川リハビリテーション病院では今年度も朝の挨拶運動を実施しております。

### 公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで5分（徒歩約20分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人 三車会  
 貴志川リハビリテーション病院  
 〒640-0401 和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3  
 TEL 0736-64-0061 / FAX 0736-64-0063  
 [HP] <http://www.mikurumakai.or.jp>

## フェイスブック

三車会は Facebook ページを運営しています。お気軽にフォロー&いいね よろしくをお願いします。



貴志川リハビリテーション病院  
 赤ひげクリニック  
 たま整形外科  
 Acti-va

撮影者：リハビリテーション部 古川結子  
撮影：和歌山マリーナシティ



2020

# みくるま通信

## Lineup 掲載内容

- ・認知症・頭痛専門外来
- ・手・足の専門外来
- ・ニュース和歌山掲載
- ・ラジオ番組について
- ・あいさつ運動

# 専門外来のご紹介



## 認知症・頭痛専門外来

診察日：火曜日 13:00~16:00(予約制)

担当医：院長 亀井一郎 医師

認知症は「最も罹りたくない疾患」の一つですが、高齢化と相まって増え続けています。日本でも認知症およびその予備軍を合わせると人口の1割を占め、65歳以上では4人に1人がそれらに相当するといわれています。

認知症の症状としては「憶えられない」「時間や場所がわからない」「物事を最後までやり遂げられない」などが挙げられ、そこから周辺との間で軋轢が生じ、不安、妄想、暴言、徘徊などがみられるようになります。

アルツハイマー病がよく知られていますが、他にレビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症などがあり、それぞれ症状が異なり、対処法も違います。また慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症など手術で治る認知症もあり、的確な診断が必要です。

私たちの病院では「認知症外来」を設けており、また脳ドックも始めました。「おかしいな」「心配やな」と思ったらためらわずに受診してください。丁寧な診察と適切な検査を行い、良い治療に繋がってゆきます。一度の人生、楽しく明るく過ごしましょう。

もちろん、「頭痛」や「パーキンソン病」など脳に関するあらゆるご相談にも対応させていただきます。

## 手足の外科センター・手足の専門外来

診察日：木曜日 13:00~16:00(予約制)

担当医：副院長 谷口泰徳 医師

手・足に対する悩みを持つ方が多いにも関わらず、和歌山県内では手・足の疾患を専門的に診て、治す医療機関は多くありません。手・足の病気、外傷の診療では、手・足の構造や機能の特殊性に精通し、かつ、専門的な知識と血管、神経を扱える繊細で高度な手術技術を有している経験豊かな医師から治療を受けることが大切です。

貴志川リハビリテーション病院手・足外科センターでは、手・足の病気、外傷、神経障害、スポーツ傷害などの専門的な治療を行う『手・足の専門外来』を行っております。

当院では今まで以上に手や足の疾患・外傷でお困りの患者さんの期待に応えて行きたいと考えています。

手・足の痛み、変形、キズ、シビレなどの症状でお困りの方は、貴志川リハビリテーション病院の手・足外科センター『手・足の専門外来』にお越しください。

症状に応じた専門的な質の高い治療、ケア、アドバイスを提供し患者さんの手・足の悩みの解決に務めます。

## 紹介

# ニュース和歌山に掲載されました。

ニュース和歌山の「おしえて！マイドクター Q&A」に当院院長の亀井一郎医師と副院長の谷口泰徳医師が掲載されました。今後も随時掲載予定です。

### 2020年7月25日号「おしえて！マイドクター Q&A」掲載分

Q

ズキンズキンと定期的にくる頭痛に悩まされています。



《回答者》

◆脳神経外科  
貴志川リハビリテーション病院  
院長 亀井一郎

A

それは典型的な「片頭痛」です。ふだんは何ともないのですが、頭痛発作がくると耐えがたい痛みのために作業が続けられなくなります。時に「目の前がキラキラ光る」などの前兆があり、その後、脈拍に合わせた頭痛が半日〜2日ほど続き、嘔吐を伴うこともしばしばです。若い女性に多く、遺伝性もあります。休日に起こりやすく、飲酒で悪化します。片頭痛が起こる仕組みとして、脳の血管が急激に腫れて拡張する↓血管周囲の神経を痛める、などが考えられています。

一方、肩こりやストレスが原因でじわじわと締めつけられるような慢性的な頭痛を「緊張型頭痛」と呼び、片頭痛とは区別されます。最も多く見られる頭痛で、仕事の疲れや嫌な上司の顔を思い起したりすると増幅します。ただし、作業ができなくなるほどではなく、休日にはやわらぎ、また適量の飲酒や軽い運動などで心身をほぐすと痛みは軽減します。

片頭痛と緊張型頭痛は「怖くない」頭痛の代表ですが、本人にとっては辛いものです。この両者は頭痛の起こる仕組みも治療法も全く異なります。お悩みの方は脳神経外科や脳神経内科などを受診し、適切なアドバイスや治療を受け、快適な生活を取り戻しましょう。

### 2020年6月27日号「おしえて！マイドクター Q&A」掲載分

Q

親指に痛みがあります。病院に行くくと「ばね指」と言われました。



《回答者》

◆整形外科  
貴志川リハビリテーション病院  
手・足の外科センター  
手外科専門医 副院長  
谷口泰徳センター長

A

「ばね指」とは、手の指には、指の関節の曲げ伸ばしを可能にする腱と、腱の動きをスムーズにするための腱鞘というトンネルがあります。ところが、何らかの原因によつて腱が厚みを増し、腱鞘の中を通過しにくくなると指の付け根に腫れや痛みが起ります。これが腱鞘炎です。腱鞘炎が悪化すると、指を伸ばすときに腱が腱鞘に引っかかって曲げ伸ばしが困難になったり、引っかかりが外れた際にばねが弾けるような動きが生じ、強い痛みを伴います。

治療はまず、手の使いすぎを控えて、局所を安静にし、飲み薬で経過を見ます。症状が進行している方には、手指に麻酔入りのステロイドを注射します。薬や注射で改善しないときや再発を繰り返すときは、手術となります。手術は、腱鞘の一部を切開するだけで、小さな傷で済みます。手指に痛みがあれば、早い段階で手外科専門医にご相談しましょう。

女性に多く、中年男性にも見られます。糖尿病や透析患者が罹患した場合は、重症で長引く傾向があります。手の指5本すべてに発症しますが、親指、中指、薬指が多数です。両手に同時に起こることもあります。